

北海道の教育(2005年版) 目次

I 研究集会の基調と検討

二〇〇四年合研開催にあたって

カーク色の朝

代表委員 鈴木 秀一

3

二〇〇四合同教育研究全道集会 基調提案

二〇〇四合同教育研究全道集会の基本的課題

合同教研事務局

8

記念講演

「平和と平等をあきらめない
憲法・教育基本法の危機が意味するもの」

東京大学大学院総合文化研究科教授 高橋 哲哉

：

高校演劇

：

38 34

II テーマ討論

① 学びの要求にこたえる授業づくり

41

② 子どもの権利と学校づくり

44

③ 平和・非暴力の文化と教育

47

III 実践と研究の記録

「学び」へ高めていくために…

～ひと続きの学びの物語～

田澤 紀子

：

53

発達援助としての進路指導の創造

池田 考司

：

71

IV 教育実践・研究の成果と課題

国語教育

生活を育てる中で「かしこく・ゆたかに・たくましく」みんなと連帯して、一人ひとりの自立をはぐくむ「国語教育」の実践を目指して

荒木美智雄

93

外国語教育

グローバルリズムと英語教育

鈴木 史朗

104

社会科教育

職場での普段の授業交流を大事に

山本 政俊

112

数学教育

数学はどこからきたのか

真鍋 和弘

119

理科教育

実体的イメージなどの認識過程の中間段階を科学教育に位置づける

倉賀野志郎

129

美術教育

美術教育の普遍性・重要性を改めて問う

福田 好孝

135

書教 育

子どもたちの学習権と書教育

野坂 武秀

143

音楽教育

どの子も伸びる、生き生きとした音楽の授業づくりをめざして

佐藤 重夫

148

技術・職業教育

これからの技術・職業教育

倉部 静雄

157

家庭科教育

子どもが主体となる学びを発展させる家庭科教育

伊槻久美子

166



保健・体育教育

『系統』は深化する——指導用語によって

「ちゃんと育ちたい」子どもの願いを学校の課題へ

生活科・総合学習

学びと教えの結節点としての総合の創造をめざして

教育課程・子どもの学力と評価

総合学習での成果と特別な教育的ニーズに応える試みと

学校と家庭の生活指導

対話・討論や豊かな活動をつくり出しながら、

相互応答の文化を再生する

教育条件確立の運動

国民の教育権を守り生かす運動を広げよう

子ども・青年の進路と教育

人格陶冶(教養)・自立的人間力育成の条件

子ども、父母参加の学校づくり

学校づくりに参加と共同の思想をより深く、広く

地域における子育て・学習運動

地域づくりの協同学習ネットワークをめざして

地域と学校の文化・スポーツ活動

感激・感動からスタートするもの

国民のための大学づくり

若者の就労意欲・学習支援と大学の役割を再考する

大瀬 隆	171
佐藤美千子	177
前田 賢治	184
三上 勝夫	190
黒谷 和志	196
村上 博章	203
佐々木仁志	208
神成 洋	216
上ヶ嶋哲雄	223
山田 定市	229
荒井 到	234
伊藤 雄三	234



障害児・障害者の教育と福祉

特別支援教育への移行の中で

伊藤 修毅
遠藤 健治
武田 和義
239

環境・公害と教育

多面的で総合的な環境教育を

神山 桂一
244

平和・憲法、人権・民族と教育

平和学習と「東アジア友好協力地帯」の構築認識の形成

遠藤 芳信
清水 裕一
249

国際連帯運動の基本の具体化から学ぶ

子ども・青年の発達と教育

子どもたちの内面の不安と揺れ動きを受けとめながら

内島 貞雄
259

学習や進路指導と結びつけ、他者とのかわりの援助を

不登校・登校拒否・高校中退

不登校問題の所在と支援のあり方に関する一考察

田中 敦
266

V 二〇〇四合同教研全道集会の記録

二〇〇四合同教育研究全道集会運営要項

.....

二〇〇四合同教育研究全道集会分科会役員・提出レポート一覧

.....